

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-082840

(43)Date of publication of application : 22.03.2002

(51)Int.Cl.

G06F 12/14

G06F 15/00

G06F 17/30

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-270572

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 06.09.2000

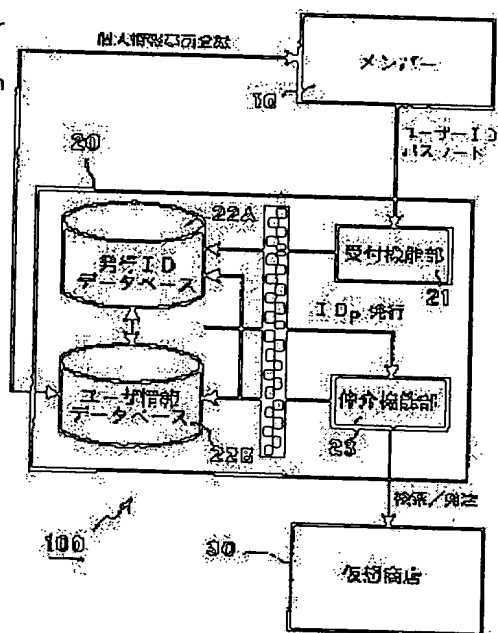
(72)Inventor : MIYAGAWA YUICHI

(54) METHOD FOR PROTECTING PERSONAL INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a member to protect his/her personal information in the case of accessing the Internet.

SOLUTION: A provider 10 issues an ID number to the member when a contract is made, also manages an IDP for accessing virtual stores on the Internet by making the IDP correspond to the ID number and also manages the personal information of the member, and the member accesses the virtual stores on the Internet by using the IDP issued by the provider by making access by using the ID number. Namely, the personal information of the member is protected in such a manner that the member uses the ID owned by the provider in the case of accessing the Internet. When the member purchases data and merchandise at the virtual store on a Web site, a commercial transaction that is safe to both the member and the virtual store on the Web site is realized in such a manner that the provider guarantees who and what the member is and his/her ability to pay the price.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-82840

(P2002-82840A)

(43)公開日 平成14年3月22日(2002.3.22)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 12/14	3 2 0	G 0 6 F 12/14	3 2 0 C 5 B 0 1 7
15/00	3 3 0	15/00	3 3 0 E 5 B 0 4 9
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F 5 B 0 5 5
	3 4 0		3 4 0 A 5 B 0 7 5
17/60	Z E C	17/60	Z E C 5 B 0 8 5

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-270572(P2000-270572)

(22)出願日 平成12年9月6日(2000.9.6)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 宮川 祐一

東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー株式会社内

(74)代理人 100067736

弁理士 小池 晃 (外2名)

Fターム(参考) 5B017 AA03 BA05 CA16

5B049 BB11 CC05 DD01 EE05 FF01

GG02

5B055 CB00 CC11

5B075 KK07 PQ60 PR08

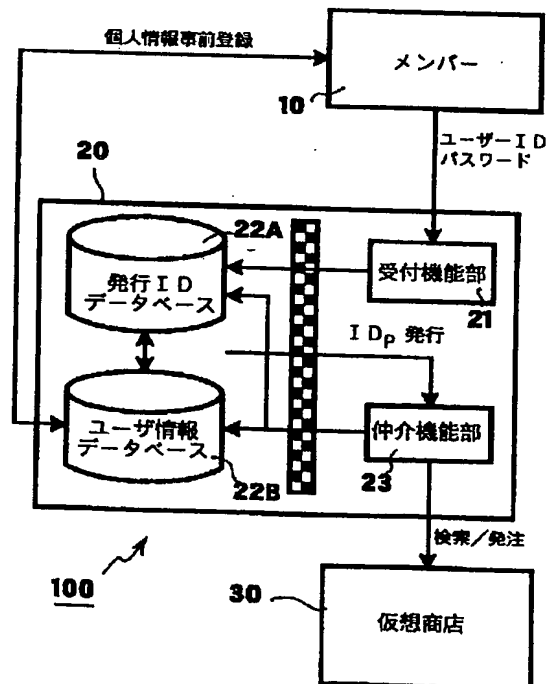
5B085 AED8

(54)【発明の名称】 個人情報保護方法

(57)【要約】

【課題】 メンバーがインターネットにアクセスする際に、メンバーの個人情報を保護できるようにする。

【解決手段】 プロバイダ10は、契約時にメンバーに対してI D番号を発行するとともに、インターネット上の仮想商店をアクセスするためのI D_Pを上記I D番号と対応付けて管理するとともにメンバーの個人情報を管理し、メンバーは、上記I D番号を用いてアクセスすることにより上記プロバイダより発行されるI D_Pを用いてインターネット上の仮想商店をアクセスすることを特徴とする。すなわち、本発明では、メンバーがインターネットにアクセスする際にプロバイダが所有するI Dを使用することによりメンバーの個人情報を保護する。また、本発明では、WEBサイト上の仮想商店で、メンバーがデータや商品を購入する際に、プロバイダがメンバーの素性を保証するとともに、代金の支払能力を保証することによりメンバーにもWEBサイト上の仮想商店にも安全な商取引を実現する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 プロバイダは、契約時にメンバーに対してI D番号を発行し、インターネット上の仮想商店にアクセスするためのI Dpを上記I D番号と対応付けて管理するとともにメンバーの個人情報を管理し、メンバーは、上記I D番号を用いて上記プロバイダにアクセスすることにより発行される上記I Dpを用いて、インターネット上の仮想商店にアクセスすることを特徴とする個人情報保護方法。

【請求項2】 上記プロバイダは、上記仮想商店にアクセスするメンバーの個人情報を公開することなく当該メンバーの代金支払能力を保証し商取引を成立させることを特徴とする請求項1記載の個人情報保護方法。

【請求項3】 上記プロバイダは、非契約メンバーが専用端末からプロバイダ経由で仮想商店にアクセスして商取引を行う際に、上記専用端末に接続された支払確認装置により支払確認を行うことにより、上記非契約メンバーの個人情報を公開することなく当該非契約メンバーの代金支払能力を保証し商取引を成立させることを特徴とする請求項1記載の個人情報保護方法。

【請求項4】 上記プロバイダは、プロバイダが保有するI Dpと1対1に対応し、アクセスする仮想商店に関する情報に精通した複数の仮想キャラクタを準備しておく、擬似的にメンバーがその仮想キャラクタとして情報の検索を依頼することによりインターネット上の仮想商店に関する情報検索を行うことを特徴とする請求項1記載の個人情報保護方法。

【請求項5】 メンバーが検索能力の異なる複数の仮想キャラクタから所望の検索能力の仮想キャラクタを選択して情報検索を依頼することを特徴とする請求項1記載の個人情報保護方法。

【請求項6】 上記複数の仮想キャラクタにより、メンバーによるWEBサイト上の仮想商店での商品の購入依頼を受け付け、仮想キャラクタにより複数のメンバーから同一のWEBサイト上の仮想商店での商品の購入依頼をまとめて仮想商店に発注を行うことを特徴とする請求項4記載の個人情報保護方法。

【請求項7】 上記複数の仮想キャラクタにより、プロバイダが準備した複数の仮想キャラクタがWEBサイト上の仮想商店にアクセスして商取引を行った際の履歴を管理し、取引の際のトラブル情報を管理し、次に同一WEBサイト上の仮想商店にアクセスするメンバーが商取引を行う際にその情報を提示することを特徴とする請求項4記載の個人情報保護方法。

【請求項8】 上記プロバイダは、WEBサイト上の仮想商店にアクセスして商取引を行った際の履歴を管理し、取引の際のトラブル履歴に応じて商取引の危険度をランク分けし、商品購入代金に加えて保険掛金を納付し

てもらい、トラブルが発生した場合に補償を行うことを特徴とする請求項7記載の個人情報保護方法。

【請求項9】 上記プロバイダにおいてメンバーと1対1に対応する仮想メンバーを置き、メンバーが上記仮想キャラクタを利用してインターネットにアクセスし、検索した情報や商品の履歴情報を仮想メンバーに蓄積していくことにより、その傾向からメンバーのプロファイリングを行うことを特徴とする請求項4記載の個人情報保護方法。

【請求項10】 上記仮想メンバーに対して、メンバーが個人情報を入力して加えることにより、より実在のメンバーに近い趣味、嗜好などをもった仮想メンバーをつくることを特徴とする請求項9記載の個人情報保護方法。

【請求項11】 上記仮想メンバーのデータとインターネットにアクセスする仮想キャラクタについて蓄積したデータの管理を別々のサーバーで行うことを特徴とする請求項9記載の個人情報保護方法。

【請求項12】 上記プロバイダは、上記仮想メンバーのプロファイリングから抽出されるメンバーの趣味嗜好に合わせて情報提供を行うことを特徴とする請求項9記載の個人情報保護方法。

【請求項13】 上記プロバイダは、成立した商取引毎に1商取引に1つ番号を発行することを特徴とする請求項1記載の個人情報保護方法。

【請求項14】 メンバーから商品の注文を受けたWEBサイト上の仮想商店が、プロバイダとの間で事前に守秘契約が締結されている指定宅配業者にメンバーが使用したI Dと、商取引の際にプロバイダが保有するI Dに加えて1商取引に1つ発行された番号を付して商品の配送を依頼し、宅配業者がプロバイダにメンバーが使用したI Dと、商取引の際にプロバイダが保有するI Dに加えて1商取引に1つ発行された番号で問い合わせることにより、メンバーの実際の名前と住所に関する情報のみを受け取り、商品を配達することを請求項12記載の個人情報保護方法。

【請求項15】 メンバーによって予め登録若しくは商品購入時に指定された現実の商店をプロバイダがWEBサイト上の仮想商店に連絡し、メンバーから注文を受けた仮想商店が、上記現実の商店にメンバーが使用したI Dと、商取引の際にプロバイダが保有するI Dに加えて1商取引に1つ発行された番号を付して配送し、メンバーが当該現実の商店において商品発注時にプロバイダが発行した番号を告げて代金を支払い、商品を受け取ることを特徴とする請求項12記載の個人情報保護方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はインターネット上でのプロバイダによるメンバーの個人情報保護方法に関する。

10

20

30

40

50

【 0002 】

【 従来の技術 】 近年のインターネットの普及は、世界中のインターネット上のWEBサイトから様々なジャンルの情報を入手したり、WEBサイト上の仮想商店にアクセスして、気に入った商品やデータを購入することを可能とした。プロバイダと契約しているメンバーは、コンピュータなどから電話回線などを通して世界中のWEBサイトにアクセスすることができる。

【 0003 】 インターネット上のWEBサイトにアクセスしたメンバーが、WEBサイトから様々なジャンルの情報を入手したり、WEBサイト上の仮想商店において商品や情報を購入する際には、WEBサイト側で、アクセスしてきたメンバーのデータベース作成などの目的で、若しくは、商取引の安全・確実を図る目的などで、個人の氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、購買のためのクレジットカード番号などといった個人情報を入力することが要求されることがある。

【 0004 】

【 発明が解決しようとする課題 】 しかし、個人情報を入力することを要求されたメンバーは、実際の存在を確認できないWEBサイト上の相手に対して個人情報を開示すると、個人情報を悪用されないか、また、個人情報をネットワークを通して送信している間に情報を盗まれたり、改竄されないかといった不安があり、インターネットビジネス普及の足枷ともなっている。

【 0005 】 こうした懸念に対し、情報を暗号化して送る方法や、いわゆる着払いといった宅配便などによる実際の商品の配送の際に代金を支払うといった方法が利用されているが、暗号は解読される可能性があり、また、商品の配送のためには、商品の送り主であるWEBサイト上の仮想商店などに少なくともメンバーの氏名及び住所といった個人情報を開示する必要がある、完全な解決策にはなっていないといった問題があった。

【 0006 】 また、実際のメンバーの氏名や電子メールアドレスを使用せず、プロバイダによってメンバーに対して発行された数字やアルファベットを組み合わせたID番号を利用する方法が考えられるが、メンバーがそのIDを使用して定常的にインターネットにアクセスし、情報検索や商品の購入を行うことにより、具体的にそのメンバーの氏名や住所といった情報までは特定できないまでも、そのIDを使用しているメンバーの趣味、嗜好といった情報を隠すことが難しかった。

【 0007 】 また、上記問題より、メンバーがインターネットにアクセスする際にプロバイダに対しても、サービスを受けるために最低限必要な個人情報以外に個人情報を入力することを躊躇する原因ともなっていた。

【 0008 】 一方、アクセスしてきたメンバーに対して、商品や情報を販売するWEBサイト上の仮想商店でも、商品や情報の購入を行うメンバーの情報(氏名、住所、クレジットカード番号など)がわからないと、メン

バーが代金の支払能力があるのかどうか、また、商品や情報と引換えに確実に代金が回収できるのかどうかといった不安がありインターネットビジネス普及の足枷ともなっている。

【 0009 】 さらに、現在、インターネットにアクセスできるのは、コンピュータ端末を自宅や勤務先に所有しており、個人や団体がプロバイダなどとの接続契約がされている人に限られておりこうした技術や手続に詳しくない人がインターネットを利用してWEBサイト上の仮想商店で情報検索したり、商品を購入することは難しかった。

【 0010 】 このような従来の実状に鑑み、本発明の目的は、メンバーがインターネットにアクセスする際に、メンバーの個人情報を保護できるようにすることにある。

【 0011 】 また、本発明の他の目的は、WEBサイト上の仮想商店でメンバーがデータや商品を購入する際に、メンバーにもWEBサイト上の仮想商店にも安全な商取引を行うことができるようにすることにある。

【 0012 】 また、本発明の他の目的は、コンピュータ端末を持っておらず、若しくはプロバイダと接続契約していない人が、難しい技術や複雑な手続を必要とすることなくインターネットにアクセスし、WEBサイト上の仮想商店でデータや商品を購入することができるようにすることにある。

【 0013 】 また、本発明の他の目的は、インターネットにアクセスする際に、メンバーなどがインターネットにアクセスする際により効率的に必要な情報や商品を検索することを可能とすることにある。

【 0014 】 さらに、本発明の他の目的は、メンバーの個人情報を保護することにより、プロバイダに対してのメンバーの趣味、嗜好といった個人情報の入力を促進することにより個人プロフィールの作成を容易にし、メンバーの趣味、嗜好を持った仮想の自分をネットワーク上に創造できるようにすることにある。

【 0015 】

【 課題を解決するための手段 】 本発明に係る個人情報保護方法は、プロバイダは、契約時にメンバーに対してID番号を発行し、インターネット上の仮想商店をアクセスするためのID番号を上記ID番号と対応付けて管理するとともにメンバーの個人情報を管理し、メンバーは、上記ID番号を用いて上記プロバイダにアクセスすることにより発行される上記ID番号を用いて、インターネット上の仮想商店にアクセスすることの特徴とする。すなわち、本発明では、メンバーがインターネットにアクセスする際にプロバイダが所有するID番号を使用することによりメンバーの個人情報を保護する。また、本発明では、WEBサイト上の仮想商店で、メンバーがデータや商品を購入する際に、プロバイダがメンバーの素性を保証するとともに、代金の支払能力を保証することにより

10

20

30

40

50

メンバーにもWEBサイト上の仮想商店にも安全な商取引を実現する。

【0016】本発明に係る個人情報保護方法において、上記プロバイダは、非契約メンバーが専用端末からプロバイダ経由で仮想商店にアクセスして商取引を行う際に、上記専用端末に接続された支払確認装置により支払確認を行うことにより、上記非契約メンバーの個人情報を公開することなく当該非契約メンバーの代金支払能力を保証し商取引を成立させる。これにより、コンピュータ端末を持っておらず、若しくはプロバイダと接続契約していない人が、難しい技術や複雑な手続を必要とすることなくインターネットにアクセスし、WEBサイト上の仮想商店でデータや商品を購入することができる。

【0017】本発明に係る個人情報保護方法において、上記プロバイダは、インターネットにアクセスする際に、特徴を持たせた仮想キャラクタを用意することにより、メンバーなどがインターネットにアクセスする際により効率的に必要とする情報や商品を検索することができる。

【0018】さらに、本発明に係る個人情報保護方法において、上記プロバイダは、メンバーの個人情報を保護することにより、プロバイダに対してのメンバーの趣味、嗜好といった個人情報の入力を促進することにより個人プロフィールの作成を容易にすることにより、メンバーの趣味、嗜好を持った仮想の自分をネットワーク上に創造することができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

【0020】本発明は、例えば図1に示すようにインターネット上でメンバー10、プロバイダ20及び仮想商店30により構築される電子商取引システム100に適用される。

【0021】この電子商取引システム100において、プロバイダ20は、インターネットを介してクライアントによるアクセスを受け付ける受付機能部21と、契約時にメンバー10に対してID番号を発行し、メンバー10からの要求によりインターネット上の仮想商店30にアクセスするためのIDP（プロバイダを特定できる英字、数字などの文字の組合せで、プロバイダにより複数のものが用意されている）を発行して管理する発行IDデータベース22Aと、メンバー10の氏名、年齢、住所、電話番号、嗜好、趣味、カード番号、銀行口座などの個人情報を管理するユーザ情報データベース22Bと、メンバー10からの要求により上記IDPを用いてインターネット上の仮想商店30と接続する仲介機能部23を備える。

【0022】そして、この電子商取引システム100では、図2に示す手順に従って電子商取引が行われる。

【0023】すなわち、プロバイダ20と契約したメン

バーすなわちメンバー10は、メンバー10は、契約時にプロバイダ20との間で取り決めたID番号とパスワードなどによりプロバイダ20にアクセスし（ステップS1）、予めプロバイダ20によって用意されたプロバイダ20が所有するIDPを使用して（ステップS2）、インターネットにアクセスし（ステップS3）、WEB上の仮想商店30において必要な情報や商品の検索を行う（ステップS4）。

【0024】メンバーは、検索の結果、購入を希望する情報や商品が見つかったか否かを判定する（ステップS5）。ステップS5における判定結果がNOすなわち購入を希望する情報や商品が見つからない場合には検索を終了し（ステップS6）、また、ステップS5における判定結果がYESすなわち購入を希望する情報や商品が見つかった場合は、プロバイダ20が所有するIDPを使用してWEB上の仮想商店30に対して購入依頼を出す（ステップS7）。

【0025】そして、プロバイダ20は、メンバーの素性（実際の氏名、住所などの特定）を確認して、予め申請されたカード番号や銀行口座などの情報をもとに代金支払能力があるか否かを判定し（ステップS8）する。ステップS8における判定結果がNOすなわちメンバーの代金支払能力を保証できない場合にはその商取引を不成立にさせ（ステップS9）、また、ステップS8における判定結果がYESすなわち予め申請されたカード番号や銀行口座などの情報をもとにメンバーの代金支払能力を保証できる場合には、メンバーに代金支払能力があることを保証して（ステップS9）、その商取引を成立にさせ（ステップS10）、この商取引に固有の取引番号を発行して、商取引処理を終了する。

【0026】このような電子商取引システム100では、メンバーがプロバイダ20が保有するIDPのみでの商品の発注を可能とし、WEBサイト上での仮想商店30に個人情報を知られずにデータや商品を購入することができる。

【0027】すなわち、プロバイダ20に加入しているメンバーがインターネットにアクセスし、情報検索や商品の購入を行う際に、個人の氏名や電子メールアドレスの替わりにプロバイダが保有するIDPを使用することにより個人情報（氏名、年齢、人種、性別、住所、電話番号、個人の趣味や嗜好、カード番号、銀行口座、保有資産、家族構成などに関する情報）を保護することができる。

【0028】したがって、プロバイダ20と契約しているメンバーは例えば、自分の氏名、年齢、人種、性別、住所、電話番号、個人の趣味や嗜好、カード番号、銀行口座、保有資産、家族構成などに関する情報を入力することなくインターネットにアクセスし、必要な情報を探したり、希望する商品や電子データを購入することが可能となり、現実の存在が確認できないWEBサイト上の

仮想商店30を利用した際に入力した自分の個人情報が悪用されたり、インターネットにアクセスする際に第三者によってデータを盗まれ、悪用されるといった問題が解決される。

【0029】また、プロバイダ20がメンバー10の素性(実際の氏名、住所などの特定)を保証するとともに、予め申請されたカード番号や銀行口座の情報をもとにメンバー10の代金支払能力を保証することにより、メンバー10とWEBサイト上の仮想商店との商取引が安全なものになるとともに、メンバー10の個人情報を保護することができる。

【0030】また、上記プロバイダ20は、コンビニエンスストアなどの街中の専用端末から契約していないメンバー(非契約メンバー)によるアクセスを受け付ける。

【0031】そして、この電子商取引システム100では、プロバイダ20と契約していないメンバー(非契約メンバー)による電子商取引が図3に示す手順に従って行われる。

【0032】すなわち、非契約メンバーは、コンビニエンスストアなどの街中の専用端末からプロバイダ20経由でプロバイダ20が所有するIDPを使用して(ステップS1)、インターネットにアクセスし(ステップS22)、WEB上の仮想商店30において必要な情報や商品の検索を行う(ステップS23)。

【0033】非契約メンバーは、検索の結果、購入を希望する情報や商品が見つかったか否かを判定する(ステップS24)。ステップS24における判定結果がNOすなわち購入を希望する情報や商品が見つからない場合には検索を終了し(ステップS25)、また、ステップS24における判定結果がYESすなわち購入を希望する情報や商品が見つかった場合は、プロバイダ20が所有するIDPを使用してWEB上の仮想商店30に対して購入依頼を出すとともに、専用端末に接続された現金払込み装置や、プリペイドカードを利用してプロバイダ20に対して代金を支払う(ステップS26)。

【0034】そして、プロバイダ20は、専用端末機から代金が支払われたか否かを判定し(ステップS27)する。ステップS27における判定結果がNOすなわち代金が支払われない場合にはその商取引を不成立にさせ(ステップS28)、また、ステップS27における判定結果がYESすなわち代金が支払われた場合には、プロバイダ20が所有するIDPを使用して当該購入依頼を出した非契約メンバーにより代金支払済みであることを保証して(ステップS29)、その商取引を成立にさせ(ステップS30)、この商取引に固有の取引番号を発行して(ステップS31)、商取引処理を終了する。

【0035】したがって、この電子商取引システム100では、コンピュータ端末を自宅や勤務先に所有しておらず、また、個人や団体でプロバイダなどとの接続契約

をしていない人であっても、インターネットにアクセスし、WEBサイト上の仮想商店でデータや商品を購入することが可能となる。

【0036】この際、非契約メンバーの個人情報などは、WEB上の仮想商店30に対しては全く知られることがない。

【0037】また、この電子商取引システム100におけるプロバイダ20は、当該プロバイダ20が保有するIDPと1対1に対応し、アクセスする仮想商店に関する情報に精通した複数の仮想キャラクタを準備しておき、擬似的にメンバー10がその仮想キャラクタとして情報の検索を依頼することによりインターネット上の仮想商店に関する情報検索を行うようにすることもできる。

【0038】この場合、図4に示すように、プロバイダ20と契約したメンバー10は、契約時にプロバイダ20との間で取り決めたID番号とパスワードなどによりプロバイダ20にアクセスするとともに(ステップS1)、予めプロバイダ20によって用意されたそれぞれに特徴をもった複数の仮想キャラクタ(当該プロバイダ20が保有するIDPと1対1に対応するものであって、スポーツ情報に詳しい、芸能情報に詳しいなどの特徴をもったもの)から自分がインターネットにアクセスし情報を検索する目的に合致した仮想キャラクタを選択する(ステップS2A)。そして、擬似的にメンバーがその仮想キャラクタとして情報の検索を依頼することにより、より質の高い情報や商品の検索が可能となる。

【0039】プロバイダ20は、上記仮想キャラクタによる情報の検索結果がフィードバックされる(ステップS2B)ことにより個々に特徴を持った複数の仮想キャラクタを提供する(ステップS2C)。これにより、プロバイダ20が準備した仮想キャラクタに、プロバイダ20により若しくは以前に利用したメンバー10による情報や商品の検索履歴がデータベースとして蓄積され、メンバー10が似たような情報や商品を検索する際に当該仮想キャラクタを選択すると、効率的にWEB上の仮想商店30に関する情報を提供することができる。

【0040】さらに、この電子商取引システム100におけるプロバイダ20は、図5に示すように、複数の仮想キャラクタVC1~VC4により、メンバー10によるWEBサイト上の仮想商店30A~30Dでの商品の購入依頼を受け付け、仮想キャラクタにより複数のメンバーから同一のWEBサイト上の仮想商店での商品の購入依頼をまとめて仮想商店20に発注を行うようにすることもできる。

【0041】この場合、プロバイダと契約したメンバー10A~10Dは、インターネットにアクセスする際に予めプロバイダ20によって準備された複数の仮想キャラクタ(スポーツに詳しい、芸能情報に詳しいなどの特

徴を有する) VC1~VC4をインターネットにアクセスしてWEB上のスポーツ関連の仮想商店30A₁~30A_n、芸能関連の仮想商店30B₁~30B_n、音楽関連の仮想商店30BC~30C_nやレストラン関連の仮想商店30D₁~30D_nにおいて検索したい情報や商品に合わせて選択する。

【0042】仮想キャラクタVC1~VC4には、検索は早いが集めてきた情報はラフであるとか、検索は遅いが緻密にすべての情報を網羅し、質の高い情報を集めてくるなどの特徴を持たせることも可能である。これによりメンバーがアクセスする目的に応じてプロバイダ20

が準備した複数の仮想キャラクタを使い分けることが可能となる。

【0043】また、WEB上の仮想商店30A₁~30A_n、30B₁~30B_n、30BC~30C_n、30D₁~30D_nから見ると、仮想キャラクタVC1~VC4が複数のメンバー10A~10Dからの注文をまとめて発注するので纏め買いによるボリュームディスカウントの交渉も可能となる。すなわち、プロバイダ20に契約する複数のメンバー10A~10Dが、似たような情報や商品を検索して購入を希望する場合、メンバー10A~10Dから同一WEB上の仮想商店10A~10Dへの注文をある一定の期間まとめることにより、WEB上の仮想商店10A~10D側からは、一人の人が大量に同一情報や商品を購入することを希望することとなり、大量購入によるボリュームディスカウントなどの交渉が可能となる。

【0044】また、この電子商取引システム100におけるプロバイダ20は、上記複数の仮想キャラクタがWEBサイト上の仮想商店にアクセスして商取引を行った際の履歴を管理し、取引の際のトラブル情報を管理し、次に同一WEBサイト上の仮想商店にアクセスするメンバーが商取引を行う際にその情報を提示する。

【0045】すなわち、図6に示すように、複数のメンバーが同一の仮想キャラクタを使用してWEB上の仮想商店にアクセスし、情報や商品を検索し、商取引の際にトラブルがあったか否かを監視しており(ステップS40)、トラブルがなかったことメンバーの満足度などの情報を蓄積するとともに(ステップS41)、トラブル情報(代金を支払ったのに品物が届かないとか、購入した商品と配達された商品が違っていったとか、配達された商品が劣悪であったなどの情報)を蓄積して(ステップS42)。そして、次に同一WEBサイト上の仮想商店にアクセスするメンバーが商取引を行う際に、商取引の際のトラブルの履歴を見たいか否かをメンバーに問い合わせ(ステップS43)、希望する場合はトラブル履歴情報を提示する(ステップS44)。

【0046】メンバーは、トラブル履歴情報を参考にし、商取引を行うか否かを判断し(ステップS45)、商取引を行わない場合には検索を終了する(ステップS4

6)。このようにトラブル履歴情報を参考として提示することにより、メンバーが商取引上のトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐことができる。

【0047】また、この電子商取引システム100ではWEB上の仮想商店での過去の商取引の履歴をもとに、商取引上のトラブルの頻度や、内容から商取引の危険度によって保険制度が設けられている。

【0048】例えば、購入金額に保険掛金として1000円を加えると、万が一WEB上の仮想商店から届けられた品物が壊れていたとか、自分のイメージしていたものと違っていた場合は、返品すれば全額補償されとか、保険掛金として500円しか加えなければ、同様のトラブルの際、返品しても半額しか補償されないといった制度である。

【0049】上記プロバイダ20は、上記ステップS45で商取引を行うと判断したメンバーに対して保険をかけるか否かを問い合わせ(ステップS47)、希望する場合は保険内容の選択を受け付ける(ステップS48)。

【0050】このように、上記プロバイダ20は、WEBサイト上の仮想商店にアクセスして商取引を行った際の履歴を管理し、取引の際のトラブル履歴に応じて商取引の危険度をランク分けし、商品購入代金に加えて保険掛金を納付してもらい、トラブルが発生した場合に補償を行う。

【0051】したがって、この電子商取引システム100におけるメンバーは、WEBサイト上の仮想商店にアクセスする際に、当該WEBサイト上の仮想商店が商取引において過去にどのようなトラブルを顧客との間で起こしていたかという情報を知ることができる。また、メンバーは、実在するかどうかわからないWEBサイト上の仮想商店との商取引において、保険をかけることによりトラブルの際の損害を補填することが可能となる。

【0052】さらに、この電子商取引システム100では、図7に示すように、プロバイダ20と契約したメンバー10A~10Dは、プロバイダ20の第1の管理サーバ20A上に仮想メンバー10A'~10D'を置くことができる。仮想メンバー10A'~10D'は、第2の管理サーバ20B上の前記仮想キャラクタVC1~VC4に擬似的に依頼して目的とする情報や商品を検索し、その結果は履歴として仮想メンバー10A'~10D'のデータベースに蓄積される。このデータベースから個人の嗜好や趣味が抽出される。

【0053】また、プロバイダ20は、別途、趣味、嗜好などの個人情報を入力してもらうことにより、前記蓄積されたデータと合わせて、よりメンバー10A~10Dの特徴を正確にあらわす仮想メンバー10A'~10D'を創ることができる。

【0054】プロバイダ20において、仮想キャラクタVC1~VC4と仮想メンバー10A'~10D'のデ

10

20

30

40

50

データベースは別々のサーバー20A、20Bで管理されており、WEB上の仮想商店30A₁~30A_n、30B₁~30B_n、30BC~30C_n、30D₁~30D_nで、情報や商品を検索したり購入する際に、WEB上の仮想商店30A₁~30A_n、30B₁~30B_n、30BC~30C_n、30D₁~30D_nから仮想メンバー10A'~10D'のデータベースにアクセスされて、メンバー10A~10Dの個人情報が盗まれることはない。

【0055】したがって、この電子商取引システム100におけるメンバー10A~10Dは、プロバイダ20の第1の管理サーバ20A上に置かれる仮想メンバー10A'~10D'と第2の管理サーバ20B上の仮想キャラクターVC1~VC4により、自分の嗜好を持ったネットの達人を仮想的な自分として電子商取引を行うことができる。

【0056】さらに、この電子商取引システム100では、図8に示すように、WEB上の仮想商店30A₁~30A_n、30B₁~30B_n、30BC~30C_n、30D₁~30D_nは、プロバイダ20若しくは頻繁にアクセスしてくる仮想キャラクターVC1~VC4に対し、情報や製品に興味を持った人のみに宣伝・広告を依頼することができる。

【0057】依頼を受けたプロバイダ20は、前記蓄積された情報から抽出した各メンバー10A~10Dの趣味や嗜好に合わせて、当該情報や製品に興味を持ちそうなメンバー10A~10Dにのみ仮想のメンバー10A'~10D'を通して宣伝・広告する。

【0058】これにより、従来のように不特定多数の人に広告・宣伝するのではなく、当該情報や製品に興味を持ち購入してくれる可能性の高い人のみに広告・宣伝することが可能となる。

【0059】ここで、この電子商取引システム100では、上述の如くステップS11で商取引が成立した後は、ステップS12においてプロバイダがメンバー10とWEB上の仮想商店20に対し、当該商取引に固有の番号を発行する。

【0060】1商取引に1つ番号を発行することにより、どのメンバーがどの注文をしたかを識別することが可能となる。

【0061】そこで、図9に示すように、WEB上の仮想商店30は、購入依頼された商品の準備ができた場合、予めプロバイダ20との間に守秘契約がされており、指定された宅配業者に、商品とメンバーが使用したプロバイダ保有のID及び当該商取引番号を伝え、配送を依頼する(ステップS13)。

【0062】配送を依頼された宅配業者は、プロバイダに対し、メンバーが使用したプロバイダ保有のID及び当該商取引番号を伝え、商品購入を依頼したメンバーの氏名と住所に関する情報のみを受け取り(ステップS1

4)、商品をメンバーに配送する(ステップS15)。このようにしてメンバー10は、商品を受け取り、代金の支払う(ステップS16)。

【0063】当該商取引において、WEB上の仮想商店30にはメンバー10の個人情報が一切知られることなく、宅配業者に氏名と住所が知られるのみである。

【0064】また、この電子商取引システム100では、図10に示す手順に従うことにより、コンビニエンスストアなど現実の商店で商品を受け取ることもできる。

【0065】すなわち、WEB上の仮想商店は、購入依頼された商品の準備ができた場合、予め受取希望場所として指定されたコンビニエンスストアなどに、当該商品とともに商取引の際メンバー10が使用したプロバイダ保有のID及び当該商取引番号を伝え、配送するとともに(ステップS13A)、プロバイダ20に対し、プロバイダ保有のID及び当該商取引番号を付して購入依頼された商品を配送した旨を連絡する(ステップS14A)。

【0066】連絡を受けたプロバイダ20は、当該商取引番号などをもとに、商品購入を依頼したメンバー10を確認し、指定コンビニエンスストアに商品が配送された旨を連絡する(ステップS15A)。

【0067】当該メンバー10は、指定したコンビニエンスストアに出向いて、当該商取引番号を伝えることにより商品を受け取り(ステップS16A)、代金を支払う(ステップS17A)。

【0068】当該商取引においても、WEB上の仮想商店30にはメンバー10の個人情報が一切知られることはない。

【0069】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、プロバイダと契約しているメンバーは例えば、自分の氏名、年齢、人種、性別、住所、電話番号、個人の趣味や嗜好、カード番号、銀行口座、保有資産、家族構成などに関する情報を入力することなくインターネットにアクセスし、必要な情報を探したり、希望する商品や電子データを購入することが可能となり、現実の存在が確認できないWEBサイト上の仮想商店を利用した際に入力した自分の個人情報が悪用されたり、インターネットにアクセスする際に第三者によつてデータを盗まれ、悪用されるといった問題が解決される。

【0070】また、プロバイダがメンバーの素性(実際の氏名、住所などの特定)を保証するとともに、予め申請されたカード番号や銀行口座の情報をもとにメンバーの代金支払能力を保証することによりメンバーとWEBサイト上の仮想商店との商取引が安全なものになるとともに、メンバーの個人情報を保護することが可能となる。

【0071】また、コンピュータ端末を自宅や勤務先に

所有しておらず、また、個人や団体でプロバイダなどとの接続契約をしていない人であっても、インターネットにアクセスし、WEBサイト上の仮想商店でメンバーがデータや商品を購入することが可能となる。

【0072】また、プロバイダが準備した仮想キャラクタに、プロバイダにより、若しくは以前に利用したメンバーによる情報や商品の検索履歴がデータベースとして蓄積され、メンバーが似たような情報や商品を検索する際に当該仮想キャラクタを選択すると、効率的にWEB上の仮想商店に関する情報を提供することができる。

【0073】また、例えばプロバイダに契約する複数のメンバーが、似たような情報や商品を検索して購入を希望する場合、メンバーから同一WEB上の仮想商店への注文をある一定の期間まとめることにより、WEB上の仮想商店側からは、一人の人が大量に同一情報や商品を購入することを希望することとなり、大量購入によるボリュームディスカウントなどの交渉が可能となる。

【0074】また、メンバーがアクセスする目的に応じてプロバイダが準備した複数の仮想キャラクタを使い分けることが可能となる。

【0075】また、メンバーが、WEBサイト上の仮想商店にアクセスする際に、当該WEBサイト上の仮想商店が、商取引において過去にどのようなトラブルを顧客との間で起こしていたかという情報を知ることができる。

【0076】また、メンバーは、実在するかどうかかわからないWEBサイト上の仮想商店との商取引において、保険をかけることによりトラブルの際の損害を補填することが可能となる。

【0077】また、メンバーと1対1に対応するキャラクタが、どういう情報を探し、その中からどういった情報を選択したかの履歴を蓄積していくことにより、メンバーの趣味や嗜好といった仮想のキャラクタの創造が可能となる。

【0078】また、メンバーが、インターネットにアクセスして、情報検索や商品の購入をした履歴だけでなく、プロバイダとメンバーの信頼関係に基づいてその他の個人情報を入力してもらうことにより、実在の自分に近い趣味、嗜好などをもった仮想の自分を創ることが可能となる。

【0079】また、メンバーについて蓄積され若しくは入力してもらった個人情報とインターネットにアクセスする仮想キャラクタについて蓄積したデータの管理を別々のサーバーで管理し、対応関係を公開しないことにより個人情報を保護することが可能となる。

【0080】また、メンバーのプロファイリングが可能となり、宣伝や広告を見て実際に情報や商品を購入する可能性が高い人へのみ宣伝、広告することが可能となる。

【0081】さらに、メンバーがWEBサイト上の仮想

商店で情報や商品を購入する際(商取引が行われる際)にプロバイダが保有するIDに加えて1商取引に1つ番号を発行することにより、商取引毎に対象メンバーとWEB上の仮想商店の特定が可能となり、メンバーの個人情報情報を知られることなくWEBサイト上の仮想商店から電子データや商品を購入することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用した電子商取引システムの構成を示すブロック図である。

10 【図2】本発明の一つの実施形態であり、プロバイダが保有するIDを使用することによりWEB上の仮想商店でメンバーが情報や商品を検索したり、購入する際に個人情報を保護する方法を示すフローチャートである。

【図3】本発明の一つの実施形態であり、プロバイダと契約していない非契約メンバーであっても、WEB上の仮想商店でメンバーが情報や商品を検索したり、購入する際に個人情報を保護する方法を示すフローチャートである。

20 【図4】本発明の一つの実施形態であり、プロバイダが予め用意した複数のキャラクタを使用することにより効率的に希望する情報や商品を検索することを可能とする方法を示すフローチャートである。

【図5】本発明の一つの実施形態であり、プロバイダが予め用意した特徴を持った複数のキャラクタを使用することにより効率的に希望する情報や商品を検索することを可能とする方法を模式的に示す図である。

【図6】本発明の一つの実施形態であり、商取引でのトラブル情報履歴を表示すること及び、リスクに応じて保険をかけることによりメンバーを商取引上のトラブルから保護する方法を示すフローチャートである。

30 【図7】本発明の一つの実施形態であり、ネット上に仮想の自分を創る方法を模式的に示す図である。

【図8】本発明の一つの実施形態であり、メンバーの趣味・嗜好に合わせて効率的に広告・宣伝することを可能とする方法を模式的に示す図である。

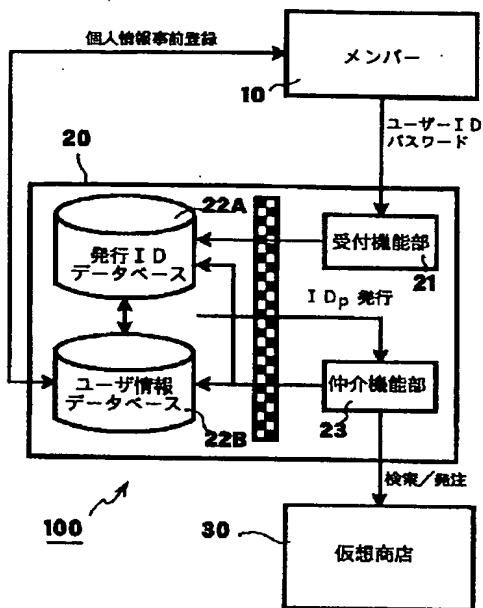
【図9】本発明の一つの実施形態であり、メンバーの個人情報を保護しながらWEB上の仮想商店から商品を配送することを可能とする方法を示すフローチャートである。

40 【図10】本発明の一つの実施形態であり、メンバーの個人情報を保護しながらWEB上の仮想商店から商品を配送し、コンビニエンスストアで商品を受け取ることを可能とする方法を示すフローチャートである。

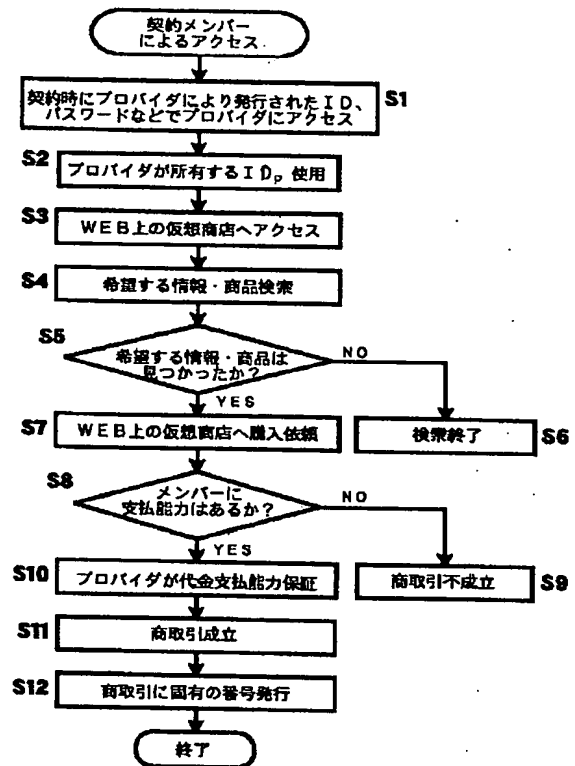
【符号の説明】

10 メンバー、20 プロバイダ、20A、20B 管理サーバ、21 受付機能部、22A、22B データベース、23 仲介機能部、30、30A₁~30A_n、30B₁~30B_n、30BC~30C_n、30D₁~30D_n 仮想商店

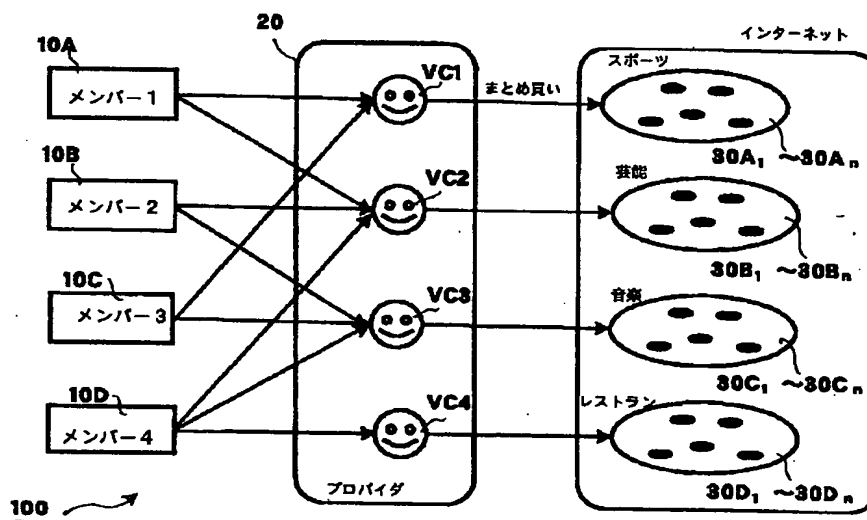
【 図1 】



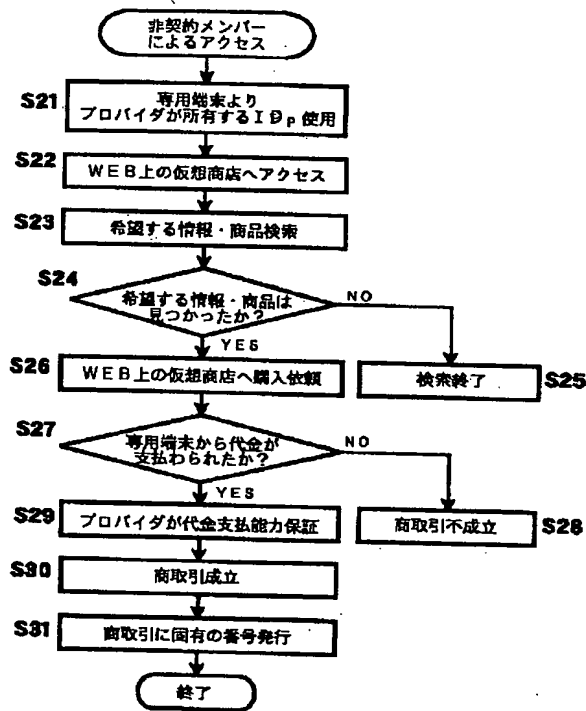
【 図2 】



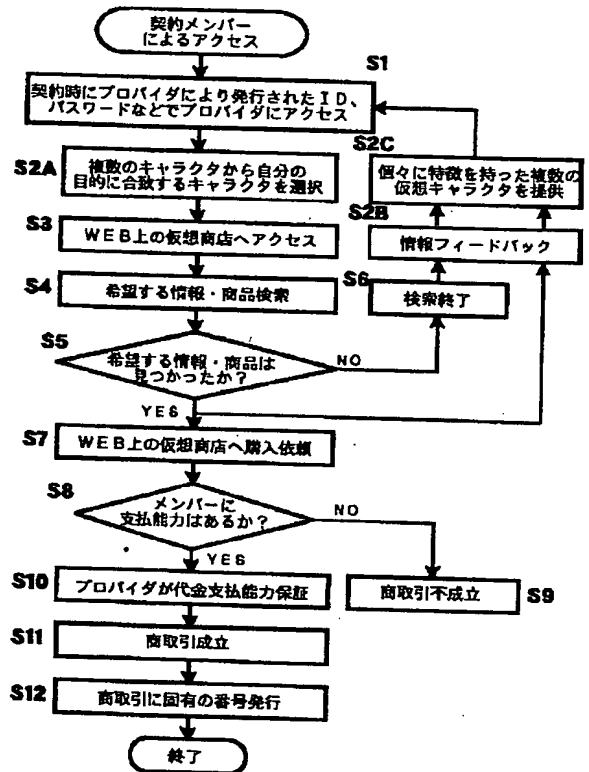
【 図5 】



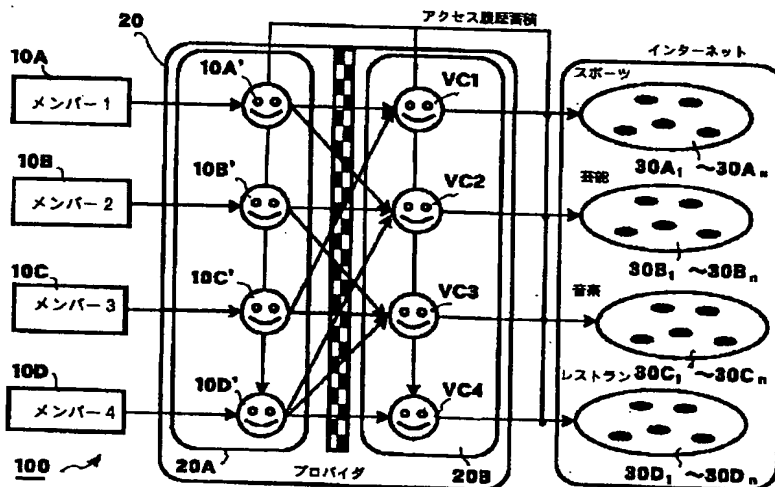
【 図3 】



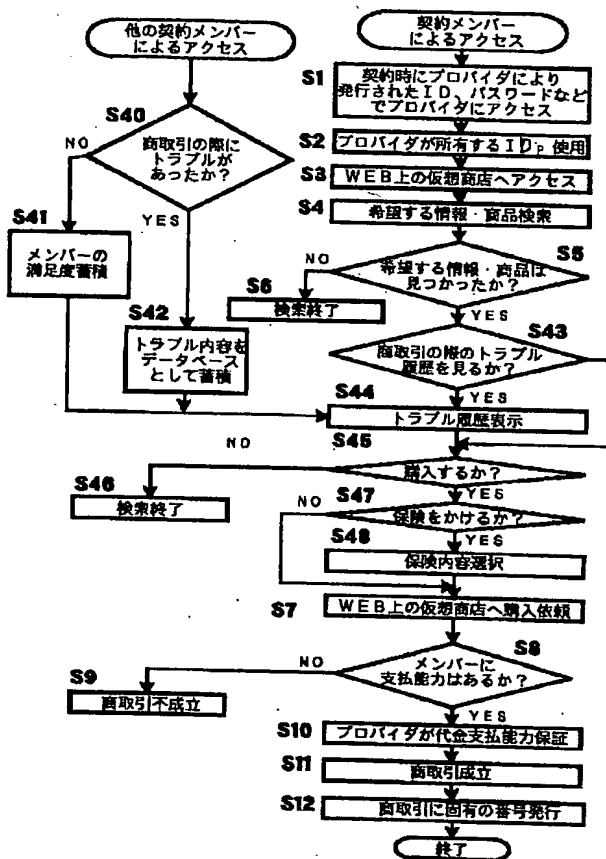
【 図4 】



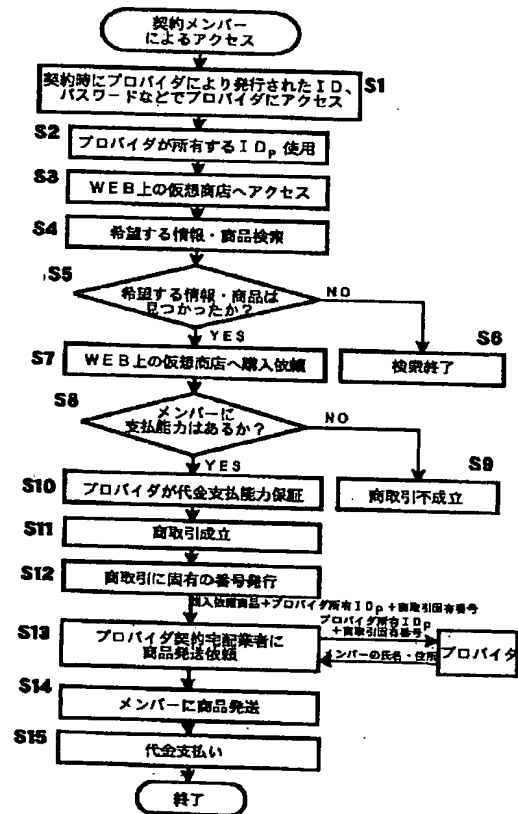
【 図7 】



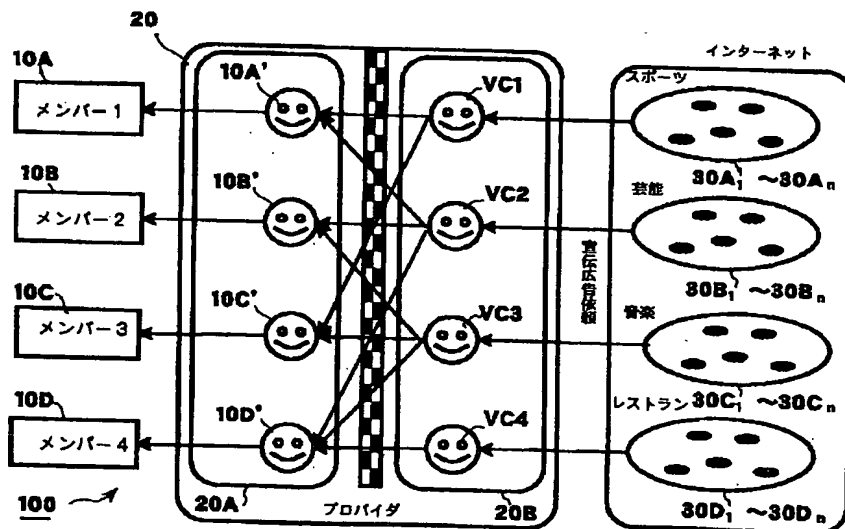
【 図6 】



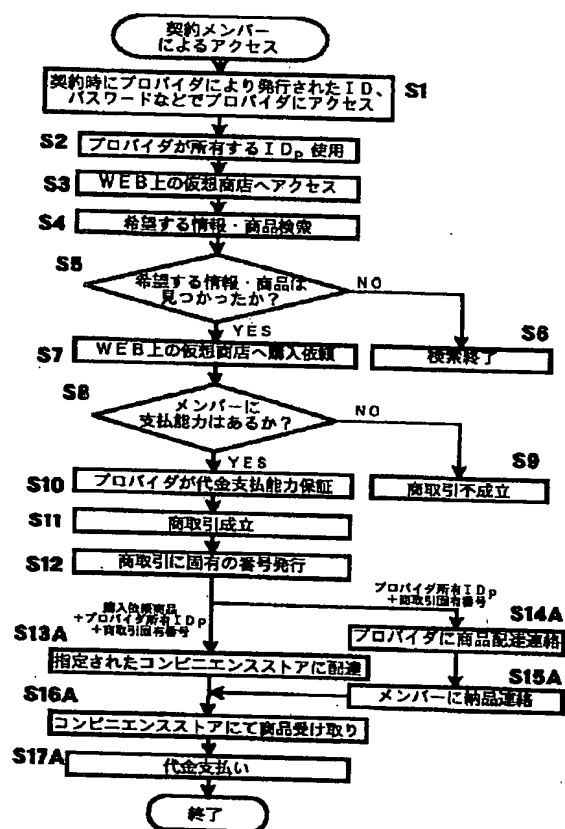
【 図9 】



【 図8 】



【 図10 】



フロント ページの続き

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 1 0

4 1 4

4 2 0

5 1 2

FI

G 0 6 F 17/60

テームト* (参考)

3 1 0 E

4 1 4

4 2 0

5 1 2